

平成 20 年 9 月 22 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 8 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 8 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR (円)	RevPAR (円)	売上高 (百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	90.1%	¥18,349	¥16,533	¥552
オリエンタルホテル 東京ベイ	89.1%	¥27,095	¥24,142	¥672
なんばオリエンタルホテル	88.7%	¥11,740	¥10,414	¥179
ホテル日航アリビラ	92.6%	¥62,838	¥58,188	¥1,079
オリエンタルホテル広島	86.6%	¥9,849	¥8,529	¥122

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、北京オリンピック、TDR周年行事による影響、また前年同月に開催された大阪世界陸上による特需がなくなったため、インターネット商品を中心としたセールスを展開したものの、稼働率は前年を下回り、結果として、部門売上は前年同月を下回りました。レストラン部門においては前年を下回る売上となりましたが、婚礼宴会部門はサマーブランチの好調により、前年同月の売上を上回り、ホテルの総売上は前年同月を約3百万円上回りました。

尚、賃借人側における会計処理に修正が入り、宿泊売上に関して年間約75百万円が下方修正され、本年8月度で一括修正される予定です。上記の開示数字は、継続性を考慮し、修正前の数字とさせていただきます。

このホテル側売上下方修正による第3期(平成19年9月1日～平成20年8月31日)の1口当たり分配金予想の修正は影響額が軽微のため変更ございません。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門は、TDR25周年による集客力の底堅さ及び夏季休暇時期ということもあり、稼働率は前年同月とほぼ同水準で推移しつつも、ADRが上回り、結果的に売上は前年同月を上回りました。レストラン部門は、夜食以外の時間帯で堅調に推移し、前年の売上を上回りました。宴会部門は、婚礼宴会が順調だったことから前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約43百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門は、前年度における世界陸上開催による需要が剥げ落ちたにも係らず、国内外からのレジャー需要が堅調であったため、前年並みの売上げを確保しました。ホテル全体の売上は前年同月を約2百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、稼働率は前年同月を下回ったものの、ADRのアップに成功したことにより、結果的に売上は前年同月を上回る結果となりました。一方、料飲部門は、レストラン部門が前年を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約26百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、引き続き観光需要が堅調な中、エージェンツセールスが奏功し、稼働率、ADR、売上と前年を上回りました。レストラン部門においては、前年同月を上回る売上になりましたが、宴会部門においては、宴会場改装の売止めにより、前年同月を下回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約122百万円となりました。

-
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数値・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>